

NIPPOの新本社ビル完成

NIPPOは20日から、東京都中央区に建設した新本社ビルで業務を開始する。設計は同社と日本設計、施工はNIPPO・大日本土木JVが担当した。外壁を二重構造にした「ダブルスキン」などで空調負荷の低減に努め、建築環境総合性能評価システム(CASBEE)で最高ランクの「Sランク」を取得している。

新本社の所在地は京橋1の19の10ほか(敷地面積707平方メートル)。建物はRC造地下1階地上10階建て延べ5407平方メートルの規模。環境に配慮した設備として、日射をコントロールする自動追尾型のブラインドなどを導入している。免震構造を採用し、大震災発生時には避難者を受け入れる。

建て替えに当たっての設計コンセプトは「道」。執務スペースを「イエゾーン」、執務スペースを囲む空間を「ミチゾーン」と位置付け、イエゾーンで生まれたアイデアをミチゾーンで社内を発展させる動線設計とした。各階をつなぐらせん状の階段にはさまざまなタイプのテーブルやベンチを配置しており、上下階を行き来しながら打ち合わせが可能。部署間のコミュニケーションを促す工夫を施した。

新本社での業務開始に当たり、吉川芳和社長は「当社は舗装土木を中心とする会社だが、自社施工でこれだけの建築物件を完成することができた。これからは新しい職場で働きやすさを実現していきたい」と話した。

20日業務開始



完成した新本社ビル